

承継業
オネストン
後継者は娘婿に
—佐々木食は生前、「社長としての準備は整った」と語っていました。

天白区は、2011年12月、創業者の佐々木正喜(当時)の娘婿である鈴木良博社長への事業承継を果たした。同社は1971年に佐々木食がブレスキン部門専門の商社として創業。金型部品製造を一個単位で請負う「1個づくり」と名付けた顧客本位の取り組みが受け事業を拡大。鈴木社長が経営のバトンを受け取った頃には、愛知県内に二つの工場と米ケンタッキー州に販売子会社を持つまで成長していた。現在はこれに加え、プレス金型事業メーカー2社を率いており、金型製造も視野に入れた事業を展開している。鈴木社長は「社の事業承継ストリーミーを聞いた」。

（写真提供：鈴木良博社長）

承継業

オネストン

後継者は娘婿に

—佐々木食は生前、「社長としての準備は整った」と語っていました。

「会長は節目を大切にする人で、社長交代は自身が70歳を迎えた時に実施したかった」

（写真提供：鈴木良博社長）

（写真提供：鈴木